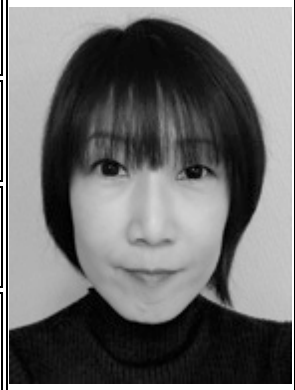


神奈川の研究者紹介

|  |   |   |
|--|---|---|
| 氏名   | 廣川 聖子（ひろかわ せいこ）   |  |
| 現職   | 川崎市立看護大学 看護学部 精神看護学領域 教授<br>川崎市立看護大学 研究・研修センター センター長  |   |
| 主な経歴   | 聖路加看護大学（現 聖路加国際大学）看護学研究科博士<br>後期課程修了 博士（看護学）  |   |
| 専攻分野・研究テーマ                                       | 精神看護、地域精神保健、自殺予防、アウトリーチ   |   |
| 主要業績<br>（これまで<br>発表した著<br>書、論文、<br>行政委員<br>の経験等） | <p>廣川聖子, 松本俊彦, 勝又陽太郎 他. 死亡前に精神科治療を受けていた自殺既遂者の心理社会的特徴 心理学的剖検による調査. 日本社会精神医学会雑誌. 2010;18(3):341-351</p> <p>Hirokawa S, Matsumoto T, Katsumata Y, et al. Psychosocial and psychiatric characteristics of suicide completers with psychiatric treatment before death: a psychological autopsy study of 76 cases. Psychiatry and Clinical Neurosciences. 2012; 66(4):292-302</p> <p>Hirokawa S, Kawakami N, Matsumoto T, et al. Mental disorders and suicide in Japan: a nation-wide psychological autopsy case-control study. Journal of Affective Disorders. 2012;140(2):168-75</p> <p>廣川聖子, 大山早紀子, 大島巖 他. 生活保護受給者自立支援事業における行政と民間との連携;今後の地域精神保健アウトリーチ支援に必要な技術に関する検討. 医療と社会. 2013; 22(4):343-357</p> <p>廣川聖子, 松本俊彦, 勝又陽太郎 他. 精神科治療を受けていた自殺既遂者の心理社会的特徴:心理学的剖検による 76 事例の検討. 精神神経学雑誌. 2013; 115(9):923-932</p> |   |
| 神奈川県との関わり  | 川崎市立看護大学は、公益財団法人 川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）が代表を務める研究プロジェクト「レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点（通称 CHANGE）」に参画し、医学、工学、県内企業等と連携しながら看護職の負担軽減に向けた取り組みを進めています。   |   |
| メッセージ  | 人とのつながりが、こころの健康度を高めることにつながると考えています。自殺予防に関する研究に取り組んでいますが、人とのつながりを軸にした予防対策について、これからも考えていきたいと思っています。   |   |
| 連絡先  | 川崎市立看護大学 看護学部<br>〒212-0054 神奈川県川崎市幸区小倉 4-30-1<br>電話：044-587-3500（代表） E-mail：hirokawa-s@kawasaki-cn.ac.jp  |   |

## 神奈川の研究者紹介

|  |   |   |
|--|---|---|
| 氏名   | 松田 有子（まつだ ゆうこ）  |  |
| 現職   | 川崎市立看護大学 看護学部 成人看護学領域 准教授   |   |
| 主な経歴   | 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科保健医療学専攻博士課程 修了<br>北里大学病院（看護師）、富士ゼロックス株式会社（保健師）、国際医療福祉大学（教員）を経て、現職。  |   |
| 専攻分野・研究テーマ                                       | 専攻分野：救急・クリティカルケア看護<br>研究テーマ：クリティカルケア看護、産業保健、継続教育  |   |
| 主要業績<br>（これまで<br>発表した著<br>書、論文、<br>行政委員<br>の経験等） | <p>主要な論文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松田有子, 山邊悠太, 大村和也, 横溝郁美, 荒木田美香子. 救急救命士が期待する事業場および産業看護職の救急対応. 健康開発 (in press)</li> <li>・ Mikako Arakida, Tokiichiro Takahashi, Yuko Matsuda, et al. Investigation of the possibility of using an augmented reality-based endotracheal aspiration simulation tool for nursing education. Japan Journal of Nursing Science (<a href="http://doi.org/10.1111/jjns.12573">http://doi.org/10.1111/jjns.12573</a>)</li> <li>・ 松田有子, 山田智美. 周麻酔期看護師教育への示唆：大学院生の視点から. 日本手術医学会誌. 2023;44(1):53-8.</li> <li>・ 松田有子, 根岸茂登美, 大谷喜美江, 荒木田美香子, 東敏昭. 産業看護職のための救急処置研修プログラムの評価. 産業衛生学雑誌. 2016;58(4):118-29.</li> </ul> |   |
| 神奈川県との関わり  | 2021年、神奈川県職員併任にて新型コロナウイルス感染症に対する「神奈川モデル」の自宅療養支援に携わった。   |   |
| メッセージ  | <p>保健、医療、福祉の在り方が変化しており、住み慣れた地域で自立した日常生活を営むためには、医療、介護、介護予防などの生活支援を総合的に受けることが重要になっています。このシステムを実現する上で、看護職の果たす役割は非常に大きいです。本学では、『医療機関はもとより地域の様々な場で活躍することができ、地域包括ケアシステムに資する人材』の養成を目指しています。そして、看護職を養成する看護大学は、地域の皆様を含む多職種と連携を図り、共に成長していく存在であると考えています。</p> <p>また、2025年度に大学院を開設するにあたり、看護学の研究やイノベーションにも寄与できるよう努めています。地域との連携を図り、看護の質の向上に貢献する活動を推進していきます。</p>  |   |
| 連絡先  | 川崎市立看護大学 看護学部<br>〒212-0054 神奈川県川崎市幸区小倉 4-30-1<br><a href="https://www.kawasaki-cn.ac.jp/">https://www.kawasaki-cn.ac.jp/</a>  |   |